

(別紙様式2)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名：大阪府
農業委員会名：千早赤阪村農業委員会

I 農業委員会の状況（令和 4 年 3 月 31 日現在）

1 農業の概要

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	93	105	105	0	0	198
経営耕地面積	29	22	5	17	0	51
遊休農地面積	30	9	9	0	0	39
農地台帳面積	143	59	59	0	0	202

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	235
自給的農家数	150
販売農家数	－
主業農家数	－
準主業農家数	－
副業的農家数	－

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	－
女性	－
40代以下	－

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	12
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	8
農業参入法人	2
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会 任期满了年月日 R 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数	－	－	－	－	－	－	－	－
認定農業者	－	－	－	－	－	－	－	－
女性	－	－	－	－	－	－	－	－
40代以下	－	－	－	－	－	－	－	－

新制度に基づく農業委員会 任期满了年月日 R 5 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	－	0
認定農業者に準ずる者	－	5
女性	－	1
40代以下	－	0
中立委員	－	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	3	3	11

※ 現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現状 (令和4年 3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	200 ha	20.7 ha	10.35 %
課 題	中山間地域で一筆の面積が狭く、形も未整備の農地が多くあり、効率が悪い為、参入者が少ない。		

※1 管内の農地面積は、前回の活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面

※2 これまでの集積面積は、前回の活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②／①×100)
22 ha	27.1 ha	1.53 ha	123.19 %

※1 集積目標は、前回の活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	新たな担い手の掘り起こし活動を行う。
活動実績	村で実施しているいちごの楽園プロジェクトにより、いちごアカデミー卒業生の新規就農が進んだ。また、その他にも大阪版認定農業者を認定された。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	集積面積が目標を上回ったため、順調に集積できていると評価できる。
活動に対する評価	今後も引き続き村での新規就農を支援していく。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	R1年度新規参入者数	R2年度新規参入者数	R3年度新規参入者数
	4 経営体	3 経営体	2 経営体
	R1年度新規参入者が取得した農地面積	R2年度新規参入者が取得した農地面積	R3年度新規参入者が取得した農地面積
	0.79 ha	1 ha	0.5 ha
課題	農業従事者の減少・高齢化等による耕作放棄地の増加、農地の分散化等が農地の確保や有効利用を図るうえで課題となっている。		

※1 新規参入者数は、前回の活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②／①×100)
4 経営体	2 経営体	50 %
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④／③×100)
1.2 ha	0.5 ha	41.67 %

※1 参入目標及び参入目標面積は、前回の活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	関係機関との連携により推進する。また、いちごアカデミー受講生等の新規就農希望者について農地の情報提供等を農業委員会として積極的に実施し、遊休農地解消につなげる。
活動実績	いちごアカデミー卒業生について農地の確保が行うことができ、村での新規就農につながった。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	目標の半分に留まったが、新規参入を促進できたことは評価する。
活動に対する評価	今後も引き続き村での新規就農を支援していく。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現状 (令和4年 3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	228.5 ha	39 ha	17.07 %
課題	遊休農地化及び山林原野化が進行しており、今後対策を講じる必要がある。		

※1 管内の農地面積は、前回の活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、前回の活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
2.5 ha	2.23 ha	89.2 %

※1 解消目標は、前回の活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	農地の利用 状況調査	17 人	9 月 ～ 10 月	11 月 ～ 12 月	
		調査方法	管内全域を調査区域とし、担当農業委員及び最適化推進委員による道路からの目視による巡回調査を一斉に行う。		
	農地の利用 意向調査	調査実施時期： 1 月 ～ 2 月			
	その他の活動	-			
活動実績	農地の利用 状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		17 人	9 月 ～ 11 月	12 月 ～ 1 月	
	農地の利用 意向調査	調査実施 2 月 ～ 3 月	調査結果取りまとめ時期	3 月 ～ 3 月	
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条	
		調査数： 8 筆	調査数： 1 筆	調査数： 0 筆	
		調査面積 0.6 ha	調査面積 0.2 ha	調査面積 0 ha	
	その他の活動	-			

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	解消目標は達成できなかったが、目標に近い実績を挙げることができた。
活動に対する評価	農地の利用状況調査により正確な遊休農地面積を把握できるため、そのデータを活用して計画的な遊休農地の解消につなげる必要がある。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現状 (令和4年 3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	200 ha	0.4 ha
課 題	農地法を厳守し、厳格な法の執行を行うことにより、違反転用を未然に防止する。	

※ 管内の農地面積は、前回の活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、前回の活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度実績

実 績①	増減(B-①)
0.4 ha	0 ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	農地の利用状況調査(農地パトロール)を9月から10月に行い、違反転用の発生防止に努める。
活動実績	農地の利用状況調査(農地パトロール)を9月から11月に行った。
活動に対する評価	違反転用の解消や早期発見のため、引き続き農地パトロールを実施する。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 件、うち許可 件及び不許可 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	複数職員による申請書類の確認と、農業委員と事務局で現地調査を実施している。			
	是正措置	-			
総会等での審議	実施状況	許可要件に合致している旨を説明。			
	是正措置	-			
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	3	件	
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0	件	
	是正措置	-			
審議結果等の公表	実施状況	議事録記載の上、農業委員会事務局窓口に備え付けをしている。			
	是正措置	-			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 28 日	処理期間(平均) 20 日	
	是正措置	-			

2 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数: 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	-			
	是正措置	-			
総会等での審議	実施状況	-			
	是正措置	-			
審議結果等の公表	実施状況	-			
	是正措置	-			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から - 日	処理期間(平均) - 日	
	是正措置	-			

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況			
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数		2	法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数		2	法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数		0	法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数		0	法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人		0	法人
	提出しなかった理由	-		
	対応方針	-		
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数			0 法人
	対応状況	-		

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容		
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数	60 件
		公表時期	令和 4 年 3 月
		情報の提供方法:	国・大阪府へ情報提供
	是正措置	-	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数	8 件
		取りまとめ時期	令和 4 年 3 月
		情報の提供方法:	国・大阪府へ情報提供
	是正措置	-	
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積	202 ha
		データ更新:	農地法許可及び届出があれば、定例会後に随時更新を行う。
		公表:	議事録に記載の上、農業委員会事務局窓口に備え付けている。
	是正措置	-	

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 特になし 〈対処内容〉 -
農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 特になし 〈対処内容〉 -

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

農業委員会事務局窓口を設置

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 件

提出先及び提出した意見の概要	提出先:千早赤阪村長 遊休農地対策及び担い手の確保 有害鳥獣対策 兼業農家・小規模農家への支援 農政担当課及び農業委員会事務局の体制強化
----------------	--

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

農業委員会事務局窓口を設置